

TO K I M E K I ときめき

東久留米市の男女共同参画情報誌

NO.

61

2018 秋

特集

つながる暮らし

—地域コミュニティって面白い!—



Contents

2. ときめきインタビュー

シーラ・クリフさん (十文字学園女子大学教授 / 着物研究家)

4. 特集 つながる暮らし —地域コミュニティって面白い!—

10. 訪ねてみました! 女性起業家さん

「政治分野における男女共同参画推進法」施行

11. 書籍紹介 / 講座報告

12. フィフティ・フィフティから



「着物の魅力」は人とのかわり フアツション大好き少女が着物と出会い来日して30年

十文字学園女子大学教授／着物研究家 シーラ・クリフさん

最近では日本人でも着物を日常的に着る人は少なくなりましたが、イギリス人であるシーラさんは、帽子やセーター、ブーツなどと組み合わせた個性的な着物姿で自転車も乗りこなされます。着物に魅せられて30年前に来日、東久留米在住21年のシーラさんに子育てや着物研究の奮闘人生をお伺いしました。

着物に魅せられて日本へ

24歳の時に友人と旅行で来日した時、陶器に興味があり骨董市に行ったのですが、着物と長襦袢を綺麗に並べた店があつて、小さい時からフアツションが好きだったせいもあり着物に魅了されてしまいました。それで、日本で着物の研究をしたいと思い、テンプル大学日本校で英語教育の資格を取り、大学の非常勤講師として日本に住むようになったんです。

東久留米に住んで

長女が生まれた21年前に東久留米に来ました。理由はCAJ（クリスチャン・アカデミー・イン・ジャパン）があつたからです。子どもがちよつといじめにあつたりしたことあつた

のですが、そのときに子どもが幸せであることが凄く重要だと思つたので。個性を尊重し、違ふのが当たり前

平等に扱つてくれて「物を覚える」とことより研究、体験して発見するようなクリスチャン・アカデミーの教育環境が私の望みと合つていました。

東久留米は自然が多く残つていて素敵など思つていません。落合川は子どもたちが小さい時から遊んだり、保育園の遠足で行つたり、私も健康のために落合川を上つたり下つたり散歩するのが一番好きです。しかし、東久留米でも自然が凄く早いペースでなくなつていきます。それがとても気になつています。

子育てに奮闘

来日してから知人の紹介で日本人

の夫と出会い、3人の子どもがいます。みんな日本で生まれました。長男、

長女はクリスチャン・アカデミーを卒業して、次女は高校1年生です。

夫と別れて、1人で頑張つてきましたが、子育ては難しいところが凄くありました。私の子どもが行つた保育園は子どもに対する考え方とかとても良いですけど、お母さんが色々なことをしなくてはいけないんですよ。これが大変で、働いているから預けているのに、なんでまた保育園から仕事にくるの？みたいな、これが結構負担になりました。でも、イギリスと比べると日本の保育園制度は凄く良いと思えます。

子育てで心がけたことは、みんな平等に考えることと、責任感を持たせることです。だから私の子どもたちは実際の年齢よりも上に見られるみたい

地域とのつながり

近所で何人かのお友達がいます。大体系着物の話題から交流が始まるんですね。私の家と同じ通り沿いに、以前古着屋をやつていた方がいて、着物のことでアドバイスを受けてたり、他にも私の着物研究に協力してくれる方もいます。

生活していると色々なトラブルが発生したりしますが、周りの人たちが私を理解し、応援もしてくれます。「シーラ頑張つて！負けないで！」って。おかげでパンクしなかつたと思えます。

また、ほぼ1年を通して着物を着ているので、いろんな人が声を掛けてくれるんですね。このような人とのつながりは洋服を着ていたら無いことですね。

着物の魅力と研究

着物は色鮮やか、しかも絹は光沢があつて美しく着られる。色、柄、四季の季節感があり、着物、帯、その他小物に至るまで複雑な組み合わせがあまりにも奥が深く、ファッションセンスを求められることが楽しくて魅了されました。私にとって着物を着ることは自分のアートですね。

また、着物にはちゃんと根がある。場所と人とのつながり。作る人と着る人と、使う人とまた別の人をつなげる。これも魅力です。

今、欧米ではファッション研究の中で、ユーザー側に段々と目を向けるようになっていきます。私も、日本の着物で、着る人に目を向けて「箆笥開き」という形の研究を行っています。50人の年齢別の箆笥の状況を調べて、女性と着物のやり取り、生き方、使い方、捨てる方の研究を始めています。今半分程進んでいます。

年代によって、着物への思いとか使い方とか、その違いは明らかで興味深いですね。年配の方は嫁入り道具など



で親が選んだ高価なものが多いのに対し、若い人は手ごろな価格のものを自分で選んで買っていることが多いとかね。

今、大学でも着物のクラスがありません。着物を着たい若者は増えていると思います。着物の授業は体験型で、実際に動いて着付けの練習をすると、その方が印象に残るし、役に立つ。学生も一生懸命やっています。

毎年大学で「浴衣デー」をやっています。七夕の日に誰もが浴衣を着て授業に出席できるというもので、1000人位の学生は着てきます。その後も興味があれば花火大会とかにも着て行けるだろうと思ってやっています。

日本の女性たちへ

日本では男女格差は絶対ありますね。30年前に大学を出て日本に来て、イギリスで仕事していいのでわかんないけど、30年前のイギリスでも男女格差は大きかったと思う。今では女性マネージャーになったり会社を動かしたり役割があると思うんですけど。

日本では力を持っているのは男性で、取り仕切っているのも男性。私の娘も社会に出てから男社会のために苦労したこともあります。そんなに昔と変わってきてないように感じるんですよね。政治とかにも女性が少ないですよ。

最近の学生は、資格をとれる学科の学生は目的意識がありますが、夢や希望、目標を持っている子が少なくなつたように感じます。趣味を聞くともほとんどがテレビを観ること、映画を観ること、音楽を聴くことなど、自分から何かするとか作るとかというのは凄く少ない。昔の学生はもう少し夢があつたように思います。

やはり日本の女性たちにはもっと夢を持って高いところを目指してほしい。努力してやり通してほしい。会社も才能のある女性にどんどん責任ある仕事を渡してあげてほしいですね。女性の才能を生かしていかないところが多いんじゃないかと思っています。

インタビュー当日も川越唐棧を素敵に着こなして登場したシーラさん、来日してからの30数年間の暮らし、着物の魅力、研究について流暢な日本語で楽しそうに、時に熱く、さらに日本の男女格差や女性への率直な意見も語ってくれました。日本人が着物と離れたつつある現在、着物の研究や普及活動に益々活躍されることを願っています。

(T)

Sheila Cliffe シーラ・クリフ さん

1961年イギリス生まれ。1983年にロンドン大学を卒業後、85年来日。現在十文字学園女子大学教授。

近代・現代の着物を考察した論文を数々発表、着物のファッションショーの企画・プロデュース、モデルなどを通して、着物の魅力を国内外に発信している。

*『SHEILA KIMONO STYLE -シーラの着物スタイル』(東海教育研究所) A5判 112頁、2018/10発行



(P.3の写真撮影: Todd Fong(タッド・フォング))

るくらし ティって面白い！

わたしたちの暮らしをより豊かにする、地域コミュニティで「つながるくらし」を楽しみましょう！

行政や企業・
大学などとの
連携

自治会

地域の課題解決
(少子化、商店
街や農業など
産業の衰退)

NPO

知識や経験を
活かした
地域貢献

ボランティア

趣味や関心ごと
を活かした
地域内の交流

地域コミュニティとは

地域にくらす人々の交流が行われている社会やグループのことです。

これまでは自治会や町内会が地域コミュニティの中心的存在として、地域の行事や防災、防犯、環境美化などの活動を行ってきました。PTAや趣味のサークル、消防団、ボランティア団体など、地域をより良くするために活動する住民同士のつながりや集まりも大切な地域コミュニティです。

地域コミュニティ活性化へのヒント

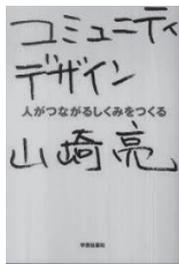
- ・地域住民が主体的に運営する、日常的に集える「居場所」づくり
- ・地域の課題を「見える化」して共有し、活動の契機に
- ・住民それぞれの得意分野や人とのつながりを生かす役割分担
- ・地域の担い手としてティーン世代～現役世代への働きかけの工夫
- ・行政や企業・大学などとの連携への働きかけ
- ・行政による情報収集・発信の工夫、相談対応、支援体制づくり

参考)「住民がつくる自立したコミュニティの形成に関する調査研究報告書」
(平成28年3月)
公益法人東京市町村自治調査会 株式会社 ニッセイ基礎研究所



「コミュニティデザイン」

—地域コミュニティづくりのヒント



「コミュニティデザイン—人がつながるしくみをつくる」
山崎亮

山崎亮／著
学芸出版社

コミュニティデザインとは「地域の課題を地域の人たちが解決するためにひとのつながる仕組みをデザインする」という考え方です。全国のコミュニティづくりに携わってきた著者が、住民参加型の地域再生法を提案します。そこで生活する一人ひとりが主人公となり、人やまち、社会がいきいきしはじめる様子に、自分もこのまちで何かできないかとわくわくしてきます。

特集

つなが

—地域コミュニティ

小さな拠点でつなく

内閣府も「地域運営組織」による「小さな拠点」づくりを推進しています。生活・福祉サービスを一定エリア内に集め、周辺集落と交通ネットワークなどで結びます。人口減少や高齢化の進行などによる地域の「困りごと」を住民全体で解決し、安全・安心な暮らしを守るための地域コミュニティづくりを行う取組みとして注目が集まっています。

少子高齢化対策

地域に根差した助け合いを推進するにあたっては、自助・共助・公助のすべてが大切。助け合いが円滑に行われるよう、行政も適宜支援を行い、地域力や仲間力を高めるための環境づくりが望まれます。高齢者の多様な経験や知恵を活かし、高齢者が子育て世代などの若い世帯を支えるなど世代間の交流を行う地域も多くなっています。一人暮らしの高齢者や子育て世代のニーズに応じた支援も必要でしょう。

市内の地域コミュニティ

**やってみたい!が
見つかるかも!!**

男女共同参画社会の実現にも、地域力の向上は不可欠。性別や世代にとらわれず、自主的に地域活動に参加することにより、地域の活性化につながります。高齢者の暮らしを改善し、子どもたちがのびやかに育つ環境が実現します。

(H)

ときめきでは、地域コミュニティの持つ「力」や「可能性」に目を向けてみました。

子育てや高齢者の生活支援・助けあい

PTA

「コミュニティデザイン」という考え方

地域全体の運営を視野に入れた「エリアマネジメント」⇒「小さな拠点」

サークル

地域の魅力の再発見と発信

つなが



実際に市内で 活動している団体を 紹介します

「おいしいね」という 子どもたちの声と笑顔に支えられて

東久留米市内で活動している5つの「子ども・地域食堂」は、東久留米子ども食堂ネットワーク「こねっと」*を組織して、情報交換や食材の共有をしながら運営しています。市内農家の方々から新鮮なお野菜のご支援も！子どもの居場所作り、多世代交流、子育て応援など、それぞれの食堂が力を入れている分野はさまざまですが、地域の中で多様な人々がふれあい、食を通してつながることで、活力ある地域コミュニティ作りにも貢献したいと思っています。

*「こねっと」は、「東部子ども食堂」「滝山ふれあい子ども食堂」「ほんむらっこ食堂」「東久留米にこここ食堂」「ゆいまある子どもカフェ」で構成されています。

子ども食堂とは

家庭の事情などで、家でおなかをすかせていたり、一人でごはんを食べたりしている地域の子どもたちに、無料または低額で食事を提供する取組み。

東久留米子ども食堂ネットワーク「こねっと」

滝山ふれあい子ども食堂

やべあきよ
矢部晶代さん

NPO法人 東久留米ふれあいの街
事務局長



訪問看護から地域のつながりを

看護師やリハビリスタッフによる『訪問看護』と、ケアマネジャーによる『ケアプラン作成』を行う事業所として、平成19年から活動しています。また8年前から、NPOとの協働によるボランティア活動として『ふらっと相談室』、『アロマや手芸などを楽しむ会』、病気や介護の『学習会』などを開催しています。更に今年からは『多世代食堂 東久留米にこここ食堂』の活動場所も提供。地域の方々とのつながりが、どんどん広がっています。

東久留米白十字訪問看護ステーション

なかしまともこ
中島朋子さん

東久留米市白十字訪問看護ステーション所長
NPO法人 緩和ケアサポートグループ理事



外国の方と共に暮らす町へ

私は14年前にHIFに入会し、現在は日本語教室で「日本語を母語としない大人や子どもたち」と一緒に日本語の学習をしております。教室はまさに多文化が行き交う場、常に新鮮な(!)「価値観のゆらぎ」があります。市内には私たち同様、ボランティアが日本語教室を運営する「東久留米にほんごクラス」もあります。共に生きていくお隣さんとして、外国人の学習支援の場、不安や悩みに寄り添う場があることはとても大切です。私はこのことを今後も地域に発信し続けて参りたいと思っています。

東久留米国際友好クラブ(HIF)

たがひまよこ
田淵陽子さん



「うみくる号」がやってくる！

移動水族館は病気や障害、高齢などで水族館に行けない人々のために大型トラックで魚や水辺の生物を運び、触れ合っていただくという葛西臨海水族園の教育事業です。東久留米にも招きたいという高齢女性の想いに応え、3年前に福祉ボランティア経験者3人で立ち上げました。去年10月には、市内の老人施設に移動水族館を招き200人もの来場者に大変喜んでいただきました。地域の方々との交流ふれあいで笑顔、楽しさを橋渡しできる幸せ喜びを感じています。今、次の開催に向けて準備中です。

東久留米市移動水族館を呼ぶ会

かのしまようこ
辛島幼子さん



うみくる号



風のない日の朝、公園の空に舞うヒコーキ

当会は、ゴム動力や、クラフト機など模型飛行機関係のクラブです。早朝風の無い日に自然と集まり、飛行機を飛ばし、作り方の情報交換などしております。現在、会員は、ほとんど60歳以上ですが、初めのころ杖をついて来た人が、飛行機を拾うため、いつの間にか、歩けるようになり、走れるようになったりして健康にも役立っております。ヒコーキ教室などの依頼もあり、楽しんでます。どなたでも、男女年齢を問わず大歓迎いたします。



六仙公園友の会ヒコーキクラブ
しもぎきひろし
下崎闊さん

歴史に学ぶ日本と日本人

この会は、司馬作品のファン、歴史に関心のある方の集まりです。毎月の卓話は「語りたい」という方と「話を聞きたい」という方との出会いの場でもあります。居心地のいい時間と空間を共有しています。例会は既に100回を超え、最近では女性の参加が増えて発言も活発です。聞く楽しみ、知る喜び、そして語り合うことで心が豊かになります。歴史は好奇心の宝庫です。



日本と日本人を考える～「司馬遼太郎を語る会」
さいとうひろあき
斉藤弘昭さん

指揮者の“手”に集中して迫力ある和太鼓演奏!!

『東久留米市ろうあ協会』は、市内在住の聴覚障害者で組織している団体です。目には見えない障害を市民に理解していただく活動の一つに“市民手話まつり*”での“和太鼓”の演奏があります。お互いに聞こえない者同士なので音を合わせるの大変ですが、指揮者(先生)の手に神経を集中して音を合わせる方法で立派に演奏出来ることを証明しています。今メンバーは10人と少人数ですが、毎週火曜日の夜楽しく練習に励んでいます。

*市民の皆さんと聞こえない方たちが交流をしながら、子どもから大人まで楽しめるイベントで、毎年開催されています。平成30年9月23日(日)の開催で22回目を迎えました。



東久留米市ろうあ協会
ひらやませいこ
平山征子さん

ヨガを通して地域を活性化

ヨガを始めて40年になり、東久留米でヨガ講座を開催しています。春と夏には、屋久島で瞑想ヨガツアーもしています。人生100年と言われる時代に、大事なことは「健康でみんなと一緒に笑える」毎日を送ること。それには、毎日の運動は欠かせません。年々、ヨガと瞑想に興味がある人が増え、みんなで集まれば、元気をもらい、楽しくヨガができます。ヨガを通して、東久留米の方々とながり、地域の活性化に貢献していきたいです。



まんだらめいそう
曼荼羅瞑想ヨガ
なほこ
ゴーシュ直子さん

明日に向かって打つ♪
若さみなぎるダンスエンターテイメント

約4年前、興味本位から独学で始め、今では同じ学校に10数人の仲間を加えて、団体として活動を始めました。僕たちは非常灯として使われるサイリウムを持ち、暗闇の中で光の軌道を美しく魅せるという活動をしています。メンバーの最年長が17歳、最年少は13歳と、とても活気溢れるグループです!今後はいろいろなところに行き、元気を分けられるような楽しく、美しいパフォーマンスをしていきたいです。よろしくお祈りします!



自由学園男子部ヲタ芸
えぞえけいすけ
江副佳祐さん



子育てを生き生きと楽しむための情報が溢れています！

1997年に子育て中のママにより結成、『東久留米育児応援マップ(ままっぷ)』の販売・作成を主な活動としています。幼稚園児の現役ママに直接話が聞ける【知りたい！東久留米の幼稚園】を年1回開催し、好評をいただいています。さらに昨年5月から週1回、0～2歳の親子の交流や息抜きを目的とした【にこにこ広場】を開設しました。私自身、この活動を通じて子育てだけでなく自分自身も成長し、頼れる仲間もでき、本当に幸せです。

育児応援マップを作る会
あおやま
青山ひとみさん



ページをめくれば心ときめく♪ 「本」の魅力を伝えます

こんにちは、本の虫ユウと申します。少しでも本が皆さんに心地よい存在になってほしくて『ぼけっと』という主に十代向けのフリーペーパーにコラムを連載したり、図書館のイベントに参加させていただいたりしています。私は小さい頃から本に囲まれて育ってききましたので、図書館での活動は今まで自分の中で消化するだけだった「面白い、お勧めしたい」という感情を存分に発散できる表現の場です。私の文章を読んで興味や共感を持っていただけたら、嬉しいと思います。

東久留米市立中央図書館
ティーンズ向け情報誌「ぼけっと」編集部
ユウさん



私らしい関係づくりで幸せになる勇氣

どちらも月1回のアドラー心理学を学ぶ集まりです。「人間の悩みは人間関係である」とし、原因より目的に目を向け、行動のための勇氣を持つ方法を習得。どなたでも歓迎です(私は子育てにも活かしています)。自分の価値観チェックや、こんな時どうする？と具体的な事例を挙げてのワークや対話から、理解を深める参加型。お互いを勇氣づけあう仲間、つながりができることが魅力で「人と人のつながり」の大切さに気付かされる場でもあります。

ELM勇氣づけ講座／嫌われる勇氣読書会
たかはしゆうこさん



子どもたちの未来を守るためにできること

2011年の原発事故を受け、幼い命や生活を守るにはどうしたら良いのだろうという思いから、同年8月に発足。現在まで7年間活動し、農産物や土壌の測定、環境フェスティバルでのパネル展示などを行っています。会は年数回集まり、原発問題だけでなく、子育ての悩みなどの話もでき、先輩ママたちの言葉に大いに助けられています。私たちと同じように東久留米の環境ってどうなんだろう？という不安を持つ人が、気軽に話せる会であることを目標に活動を続けていければと思っています。

放射能から子どもを守る会@東久留米
マイコ&ユウコさん



農業をする楽しみを伝えています

東久留米市の農家として、社会的責任を果たしながら生きがいを持つ方策を考え、体験型農園を作りました。身近な野菜作りを通して、汗を流す楽しさを共有したいと思います。また、将来農業の労働力が不足していくことを考えると、少しの余裕を他の人のために使う、そんな考えを持っていただける方を探し、援農ボランティアとして協力を得る。それが実現できたときに社会という意味の本質が見えてくるのだと思い、これからも頑張っていきます。

体験型農園グリーンファーム東久留米
えんどうきよみ
遠藤清美さん



大切な人、大切な自分のまちを守る

東久留米市消防団は、「自分たちのまちは自分たちで守る」をスローガンとした消防や防災活動を行うためのボランティア組織です。東久留米市内や近隣市で火災が発生した場合は消防車に乗って火災現場に向かう消火活動などだけでなく、定期的な訓練や地域の防災訓練に参加するなど日々活動しています。私は消防団に参加することでさまざまな世代や職業の方たちと交流でき、いろいろなものの考え方に会えることができました。

東久留米市消防団
にしかわよしひろ
西川嘉弘さん



いざその時に備え、 地域の特性に合わせた避難所運営計画を

当会は平成29年8月に立上げ、21のマンション管理組合と12の自治会で構成されています。この地域の、マンションが多いという特性から、災害時には他地域と比較しても在宅避難者が圧倒的に多数を占めると予測しています。避難所への支援のみならず、在宅避難者（主に要援護者）の方々にも、公平に物資の配布と各種支援を果たせるルール作りが肝要と認識し、2か月間隔で話し合う場を開き、来年のマニュアル完成に向け只今進行中です。

第三小学校避難所運営連絡会
はやかわしげよし
早川重義さん



地区の活性化のお手伝い

民生委員・児童委員として担当区域の方からのご相談などをお受けするほか、地域で取り組まれている活動に協力、参加させていただいています。児童館のお手伝いでは子どもたちの元気をもらいながら楽しい時間を過ごしています。また、月2回のミニデーサービス(さいわいサロン)では、スタッフの方と一緒に楽しみながら企画し、利用者の方に喜んでいただけると心が豊かになります。この地域がより良くなっていけばと願っています。

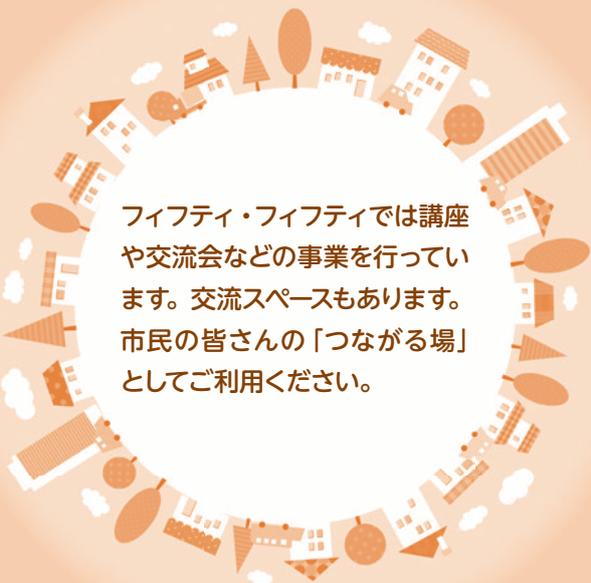
東久留米市民生委員・児童委員協議会
なわたくろう
名和卓良さん



活動を通して得た経験を活かして 充実した高校生活!

私は、保育園の年長からガールスカウト活動をしています。活動する3~4人のグループのまとめ役『パトロールリーダー』など、貴重な経験をたくさんすることができました。今では最年長になり、式典の司会や旗手もできるようになりました。いろいろな活動を通して、リーダーシップを養うことができ、学校生活では生徒会役員や委員長を務めています。これからもガールスカウト活動を続けて、日々向上していきたいです。

ガールスカウト東京都第150団
ふじもとりきこ
藤元理紗子さん
(レンジャー部門 高校2年生)



フィフティ・フィフティでは講座や交流会などの事業を行っています。交流スペースもあります。市民の皆さんの「つながる場」としてご利用ください。

核家族化、個人の価値観の多様化などから、住民同士のつながりが希薄化し、自治会なども継承者や参加者減少の悩みを抱えているとも聞きます。

今後も少子高齢化が進んでいくことや、大規模な自然災害のおそれなどから、地域での助け合いに期待が高まっています。一人ひとりが地域に活躍の場を持つことで地域コミュニティが活性化し、住みよいまちづくりにもつながります。

*掲載されている団体についてはフィフティ・フィフティまでお問い合わせください。

訪ねてみました！女性起業家さん

前号に引き続き、市内で活躍されている女性起業家さんにお話を聞きました。今回ご登場いただくのは、帆布のオリジナルバッグやポーチなどを一つひとつ丁寧に作り「使っていただくことが、なにより嬉しい」とおっしゃる、手づくりバッグのお店ayanの加賀美彩さんです。



東久留米駅から徒歩数分、落合川沿いの住宅地にある起業家仲間のお店、はちみつ屋さん(キシユエルドゥ)ではayanさんと何人かのお仲間が、それぞれの商品を販売。店内にはフェアトレードの商品や手作りアクセサリ、はちみつ、グラノーラなどが置かれ、とても楽しい雰囲気でした。

ayanさんのコーナーには鮮やかな中にも深みのある、落ちついた色彩が印象的なバッグが並んでいました。約20色の帆布から本体やショルダーベルトを自由に組み合わせて、セミオーダーのオリジナルバッグもリーズナブルな価格ででき、好評だそうです。

加賀美さんが東久留米駅北口の通りで5年半続けたご自身の店は昨年秋に閉店。経営が厳しい面はありましたが、お客様とのつながりが築けたとのこと。今後はいろいろな販売スタイルを考えていきたいとお話されていました。詳しくはフェイスブックでご確認ください。

「こういう形で商品を販売できるのも、地域で活動している方たちとイベントを一緒にやることで知り合え、つながることができたから。自分の努力とはまた別のところで、助けてもらって今がある」とおっしゃる加賀美さん。これから起業を考えている方たちにも「一人で始めるより同じような夢を持つ仲間と出会い、情報交換や協力したりすることが次につながると思う」とのアドバイスをいただきました。

“ayan”フェイスブック <https://www.facebook.com/ayanbag2011/>

「政治分野における男女共同参画推進法」が施行されました！

「政治分野における男女共同参画推進法」(候補者男女均等法)が平成30年5月23日に公布・施行されました。この法律は「議会選挙で男女の候補者の数ができる限り均等となることを目指す」というものです。女性の議員を増やすことを促す日本で初めての法律です。

女性議員が増えることで、多様な視点、新たな発想が生まれ、みんなが生きやすい社会が変わっていくことが期待されます。



日本の女性議員数

市議会議員の女性比率
平均 14.9%



「市議会議員に占める女性の割合」全国ランキング

順位		市議会議員数(人)	うち女性数(人)	女性の参画率
1	大阪府 交野市	15	7	46.7%
2	東京都 清瀬市	20	9	45.0%
3	東京都 武蔵野市	26	11	42.3%
4	東京都 小金井市 東村山市 多摩市	24	10	41.7%
...				
	東久留米市	21	5	23.8%

出典：総務省 地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調査
割合は総務省資料より内閣府が作成(平成29年12月31日現在)

参画率が30%を超えて、やっと女性の声が反映されると言われています。全国814市(791市+23特別区)のうち30%を超えているのは43市区のみです。内閣府が発表している女性参画状況ランキング50位以内に東久留米市は入っていません。東久留米市でも(市議定数22名)女性議員が7名になると30%を超えます！

今後の選挙の時には、それぞれの政党の女性候補者数が均等の目標に近づいているかに目を向けてみてくださいね。

世界の女性議員数

国会議員の女性比率
平均 23.6%

世界一は
ルワンダで
61.3% !!

国会議員(衆議院)の女性比率は10.1%で
世界193カ国中158位です。
OECD加盟国(35カ国)中で最下位です。



日本

* IPU「Women in Parliaments」(2018年4月1日時点)より

世界経済フォーラムの調査で7年連続
「男女格差が最も少ない」と評価されています。
女性議員比率は38.1%です。



アイスランド

職場も議会も赤ちゃん同伴OK！
育休中の給与も80%支給、夫の育休取得率90%！！



赤ずきんとオオカミの トラウマ・ケア

自分を愛する力を取り戻す [心理教育] の本

白川美也子 著

アスク・ヒューマン・ケア / 2016年 / 157頁

私は一年ほど前に夕方自転車帰宅途中、暴漢に自転車ごと車道に突き飛ばされました。危うく車道を走ってきた自動車にひかれるところでした。その時の恐怖はトラウマになり、また襲われないように、着ていた服は捨て、自転車も替えました。幸い家族や友人たちに語り、トラウマは薄れてきました。話を聞いてもらうこと、話せることが大事です。

トラウマは大きな被害で受けることもあります。小さなトラウマは少なからず誰でも抱えているのではないのでしょうか。

本書は赤ずきんとオオカミの物語形式で、トラウマとの向き合い方がわかりやすく説明されています。トラウマを受けた赤ずきんちゃんのその後も、トラウマを抱えた人、それらの人を支援する人にとってよいヒントになります。

「トラウマ」って何？

おおきな精神的ショックや恐怖によっておきる心のキズです。

- 1章:トラウマを受けた人に伝えたい7つのこと
- 2章:慢性的なトラウマが引き起こす症状
- 3章:トラウマからの回復 7つのステップ
- 4章:災害トラウマの特徴と身体からのアプローチ
- 5章:支援者が知っておきたい大切なこと

トラウマを受けた人はもちろん、トラウマを受けた人とかかわるご家族、医療など専門家に向けた書籍です。専門的に難しい内容も含まれますが「赤ずきんちゃんとおオオカミ」の物語で親しみやすく、今ここを生きるために語る、助けを求める、大切さを伝えています。

4章では災害トラウマについて書かれており、自然災害を受けた方はもちろん、その家族や支援する方々にも読んでほしい一冊です。(S)

童話「赤ずきんとオオカミ」には、グリム版とペロー版があります。ペロー版ではオオカミの怖さや残酷表現が削られ、怖さが薄まっています。オオカミって悪者だけど、赤ずきんちゃんが森に住むおばあさんを訪ねる途中、オオカミに出会い、だまされて食べられてしまうお話。オオカミにだまされないように、という教訓のお話です。

さて、オオカミのお腹の中から猟師に助け出された赤ずきんちゃんはどうやってトラウマから立ち直ったのでしょうか。



フィフティ・フィフティ主催講座

プロ編集者から学ぶ編集&ライティング

～想いを形に、想いを文字に～



講師: 森 恵子

株式会社 めでいあ森 代表取締役

日時:平成30年1月23日～3月27日
(連続5回)

場所:市役所7階704会議室

分かりやすく伝わる紙面づくりのために、編集の基礎や文章の書き方などを学びました。

6人ずつのグループに分かれて、実践形式の講座でした。文章の書き方にはじまり、エッセイの宿題も。編集者の主な仕事をコンパクトに、校正の仕方、企画の出し方、紙面の作り方などを学び、グループごとにタウン誌の企画を立て、4ページの紙面を作りました。

参加者それぞれ、今後はこの講座で学んだことを、現在の市民活動やサークルの中で生かしたり、また、新しいことに挑戦するきっかけとなりました。(S)

参加者の声

【60代女性】

エッセイを書いたこともなく校正をしたこともなく、全く白紙の状態に講座に参加しました。新しい分野にも挑戦したいと思いました。

【40代女性】

森先生の熱意溢れる5回講座。書く技術のみならず「書くことは自分を知ること」を教えていただきました。地域のさまざまな方と知り合い、同じテーマについて話し合う機会を得ました。

【無記入】

夫が広告関係の仕事をしているので、少しでもその役にたつことができると考えています。

【40代男性】

編集とライティング両方の技術と目線が勉強でき、とてもよかったです。みなさんのいろいろな意見やアイデア、エッセイをみることができ、とても刺激を受けました。

【60代男性】

2回3回と続けてほしい。

書くことで想いを形に想いを文字に～自分を見つめ直し、共同の編集作業でチームワークの大切さを学びました。

フィフティ・フィフティの図書をご利用ください!

参考図書・資料コーナー

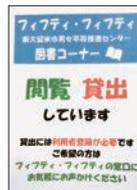
男女共同参画に関する図書、約1,300冊の本を所蔵しています。



1人2冊2週間まで
貸し出しできます

利用者登録が
必要です

窓口にお気軽に
お声かけください



図書展示

フィフティ・フィフティ開催の講座や男女共同参画に関する週間、イベントなどに合わせた図書展示をしています。



「セクハラ」特集展示



男女共同参画週間展示(6月23日~29日)

新着図書

- ・おらおらでひとりいぐも (若竹千佐子/著)
- ・わたしの主人公はわたし (細川貂々/著)
- ・あっ! そうなんだ! 性と生
幼児・小学生そしておとなへ (浅井春夫 他/編著)
- ・私たちの避難所 (垣谷美雨/著)
- ・男が痴漢になる理由 (斉藤章佳/著)

コミックもあります

- ・傘寿まり子(全5巻) (おざわゆき/著)
- ・白えりと青えり(1、2巻) (関根美有/著)
- ・私こっそり離婚をたくらんでいます (ふじわらかずえ/著)
- ・それでも母が大好きです (細川貂々/著)
- ・ほしいものはなんですか? (益田ミリ/著)
- ・マンガでわかるオトコの子の「性」 (梁矢明日香/著) ほか



- ・東久留米市図書館のHP(<https://www.lib.city.higashikurume.lg.jp/>)で検索できます。
- ・蔵書検索結果の資料情報に「所蔵館」=男女平等 となっている資料が男女平等推進センターの資料です。
- ・常出区分は「禁帯出」となっていますが、市立図書館ではなく男女平等推進センターから直接借りることができます。
- ・予約はできません。貸し出し、返却は男女平等推進センター窓口をお願いします。

男女平等推進センター (フィフティ・フィフティ)

- 所在地 〒203-8555
東久留米市本町三丁目3番1号(市役所2階)
TEL: 042-472-0061
FAX: 042-472-1131
メール: fifty2@city.higashikurume.lg.jp
- 開館時間 午前9時~午後5時
- 休館日 土曜日・日曜日・祝日・
年末年始(12月29日~翌年1月3日)
- 事業内容 講座開催/情報提供
女性弁護士による法律相談/女性の悩みごと相談
男女共同参画情報誌「ときめき」の発行
図書コーナー/交流スペース



■専門相談のご案内

相談無料 秘密厳守

	専門相談予定表 (相談日/相談時間)					
	女性弁護士による 法律相談	女性の悩みごと相談				
		9:30 ~ 12:30	10:00 ~ 13:00	13:30 ~ 16:30		
10月	5日(金)	1日(月)	9日(火)	15日(月)	22日(月)	29日(月)
11月	2日(金)	5日(月)	12日(月)	19日(月)	26日(月)	
12月	7日(金)	3日(月)	10日(月)	17日(月)	20日(木)	
1月	11日(金)	7日(月)	17日(木)	21日(月)	28日(月)	
2月	1日(金)	4日(月)	14日(木)	18日(月)	25日(月)	
3月	1日(金)	4日(月)	11日(月)	18日(月)	25日(月)	

*どちらの相談も1日3名までの予約制(先着順)です。
予約のご案内は毎月15日号の広報ひがしぐるめをご覧ください。

「ときめき」はフィフティ・フィフティ、市役所、東久留米駅、図書館および生涯学習センターほか、市内各所で入手できます。最新号とバックナンバーは市のHPでもご覧いただけます。



「ときめき」は、年2回発行。公募の市民による編集委員6人が企画編集しています。内容についてのご意見・ご感想は市民部生活文化課、またはフィフティ・フィフティ宛にお寄せください。

今号の表紙

シーラ・クリフさんの秋の装い
< 撮影: Todd Fong (タッド・フォング) >

編集後記

- 今月の編集で、看護ステーションの見学や体験農園の訪問、ヨガ講座への参加をしました。「ときめき」委員として、地域とのつながりの大切さや楽しさを味わっています。(S)
- 東久留米には、ここでは紹介しきれなかった素敵なコミュニティがいっぱいあります♪ 一歩踏み出し、多様な形で「つながるくらし」を楽しんでもらえたら嬉しいです。(H)
- 猛烈な暑さの中の作業でしたが、記事が上手く書けない時は冷や汗でヒンヤリ涼しくなりました。特集の様々な市民の活動を多くの方々を知って繋がりが生まれればと思います。(T)
- 猛暑の7月。そして、これから先はどうなるのでしょうか? さア、「ときめき」62号編集に集中!! (U)
- 今号より編集委員になりました。編集を通して、私自身もときめけるようにならばと思います♪ よろしくお願いたします。(K)
- 8月より参加させていただくことになりました。男女共同参画都市宣言起草委員として関わったのが18年前、施行20周年に向け力になれたらいいなと思っています。(M)